

(4) ダンパー管

使用時期	ダンパー管	Tube 番号
1960(S35)～1962(S37)	6AL3	-508
1960(S35)～1965(S40)	6AU4-GTA	-364
1962(S37)～1965(S40)	6R-K19	-369
1963(S38)～1965(S40)	12R-K19	-370
1963(S38)～1969(S44)	30AE3	-367
1963(S38)～1966(S41)	19AU4-GTA	-509
1964(S39)～1966(S41)	17Z3×2(パラレル)	-375
1964(S39)～1966(S41)	6DW4	-510
1964(S39)～1965(S40)	6AY3	-511
1965(S40)～1970(S45)	6DW4A	-512
1965(S40)～1970(S45)	12DW4A	-513
1966(S41)～1968(S43)	6DW4A(B)	-512
1966(S41)～1967(S42)	30AE3×2(パラレル)	-367
1966(S41)～1969(S44)	6DW4B	-514
1966(S41)～1970(S45)	17DW4A	-515
1967(S42)	12CK43	-516
1967(S42)～1970(S45)	42EC4	-517
1967(S42)～1971(S46)	19CG3	-518
1968(S43)～1969(S44)	20AQ3	-519
1968(S43)～1969(S44)	6CG3	-520
1968(S43)～1970(S45)	25CG3	-521

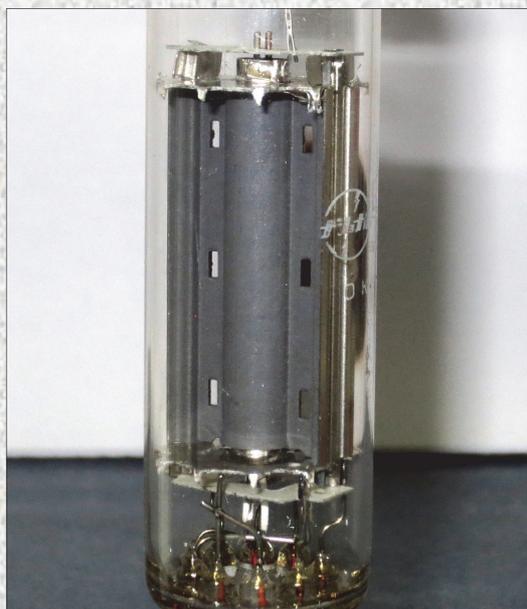
Tube- 508:

6AL3

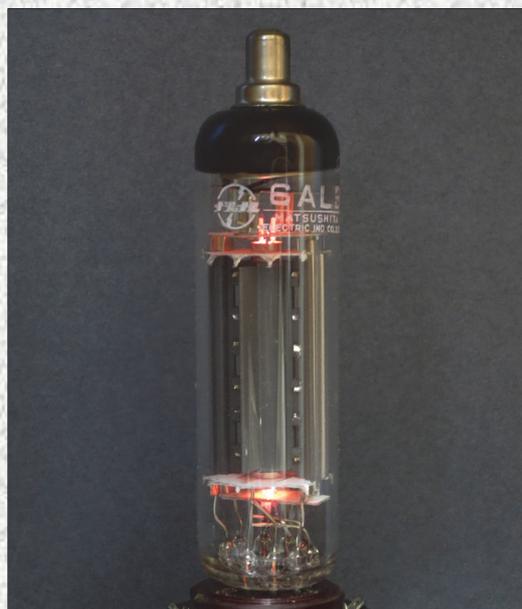
サンプル・メーカー	松下電器産業 (National)	外形番号	mT-223
使用時期	1960(S35)~1962(S37)	初期使用機種	松下電器産業 (K21-10)
使用回路	CTV:ダンパー	E_f [V] × I_f [mA]	6.3×1.55A

特徴：ダンパー用2極管、ヒーター・カソード間ピーク電圧=(負)7,500V,(正)300V,ピークプレート負電圧=6,600V,ピークプレート電流=550mA,プレート損失=5.0W

経緯：30AE3同等、(RCA TUBE HANDBOOK,HB-3,1962)



一部拡大



通電状態

Tube- 509:

19AU4-GTA

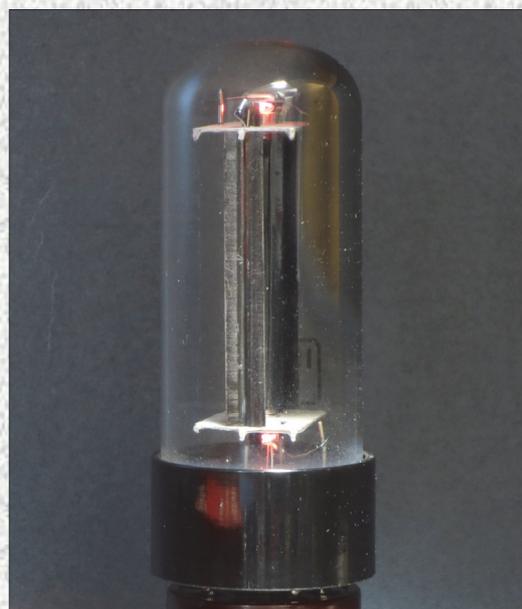
サンプル・メーカー	日立製作所 (Hitachi)	外形番号	GT29-5A
使用時期	1960(S35)~1965(S40)	初期使用機種	日立製作所 (CT-150)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	18.9×600

特徴：ダンパー用2極管、**6AU4-GTA**同等、ウォームアップタイム=11秒

経緯：(Hitachi Electron Tube Hand Book,1963)

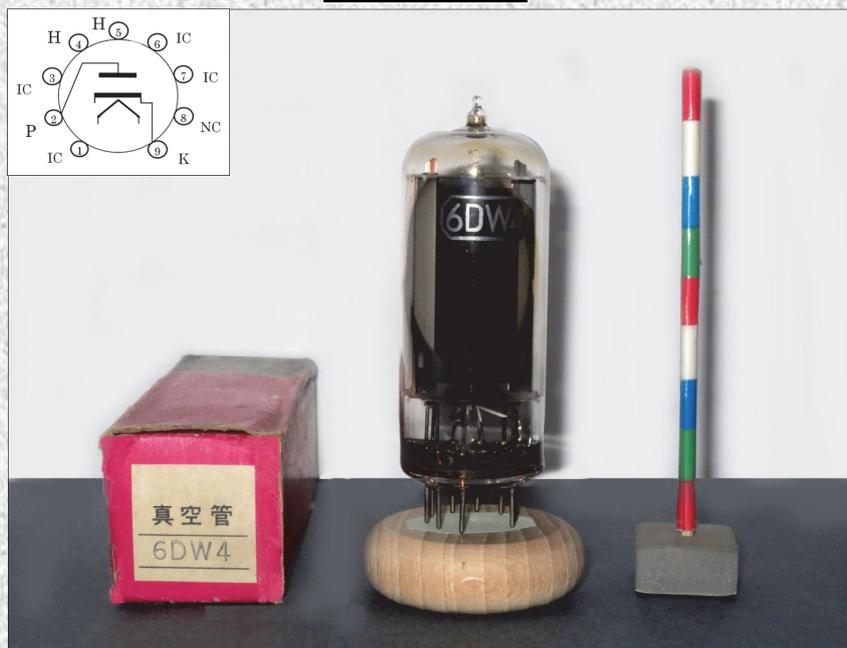


一部拡大



通電状態

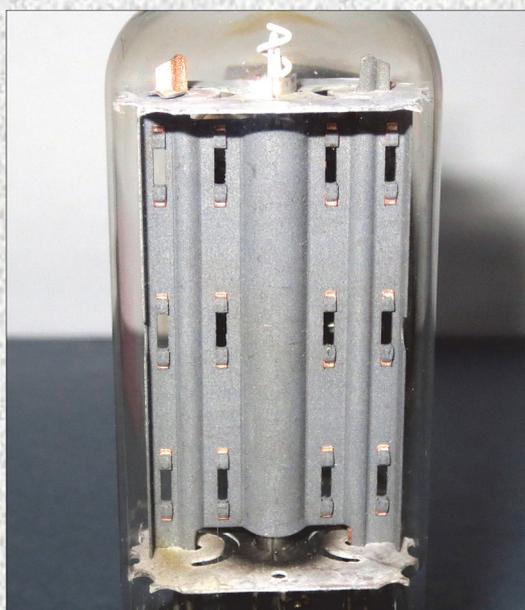
Tube- 510:

6DW4

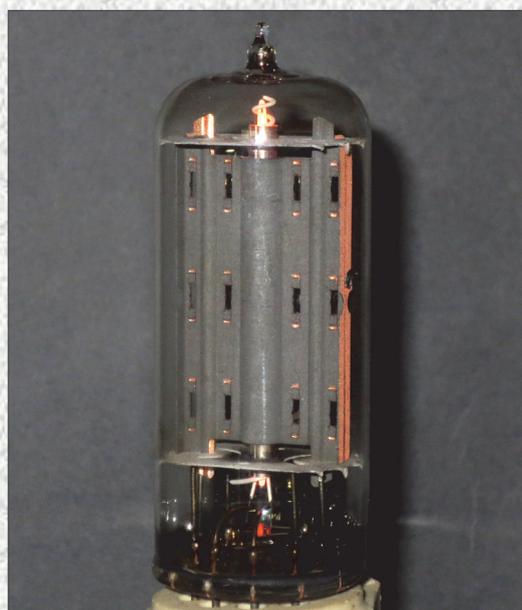
サンプル・メーカー	新日本電気 (NEC)	外形番号	ノバー,T29-003
使用時期	1964(S39)~1966(S41)	初期使用機種	東京芝浦電気 (19WP)
使用回路	CTV:ダンパー	E_f [V] × I_f [mA]	6.3×1.2A

特徴：ダンパー用2極管、ヒーター・カソード間ピーク電圧=(負)5,000V,ピークプレート負電圧=5,000V,ピークプレート電流=1,300mA,プレート損失=8.5W

経緯：排気を真空管の上部でおこなっている。(RCA Receiving Tube Manual RC-30, 1975)、(GE Essential Characteristics,1973)

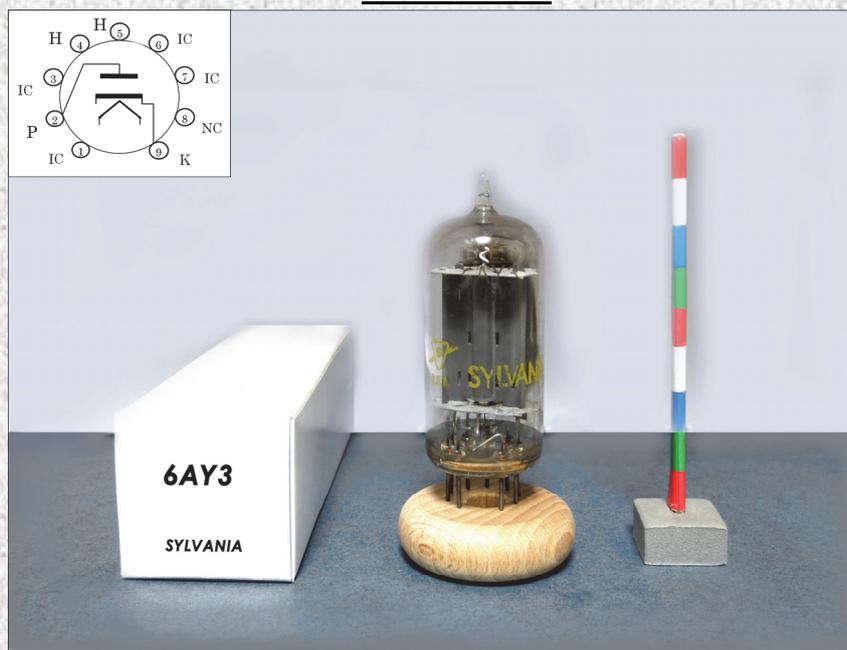


一部拡大



通電状態

Tube- 511:

6AY3

サンプル・メーカー	SYLVANIA	外形番号	ノバー,T29
使用時期	1964(S39)~1965(S40)	初期使用機種	新日本電気 (19-CT1)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	6.3×1.2A

特徴：ダンパー用2極管、ヒーター・カソード間ピーク電圧=(負)5,000V,ピークプレート負電圧=5,000V,ピークプレート電流=1,100mA,プレート損失=6.5W,ウォームアップタイム=規定無

経緯：(GE PRODUCT INFORMATION,1963)



一部拡大



通電状態

Tube- 512:

6DW4A

サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	ノバー,T29-003
使用時期	1965(S40)~1970(S45)	初期使用機種	三洋電機 (16-CT60)
使用回路	CTV:ダンパー	E_f [V] × I_f [mA]	6.3×1.2A

特徴：ダンパー用2極管、12DW4A同等、ウォームアップタイム=規定無

経緯：17DW4A同等、排気を真空管の上部でおこなっている。(東芝電子管ハンドブック,1969)

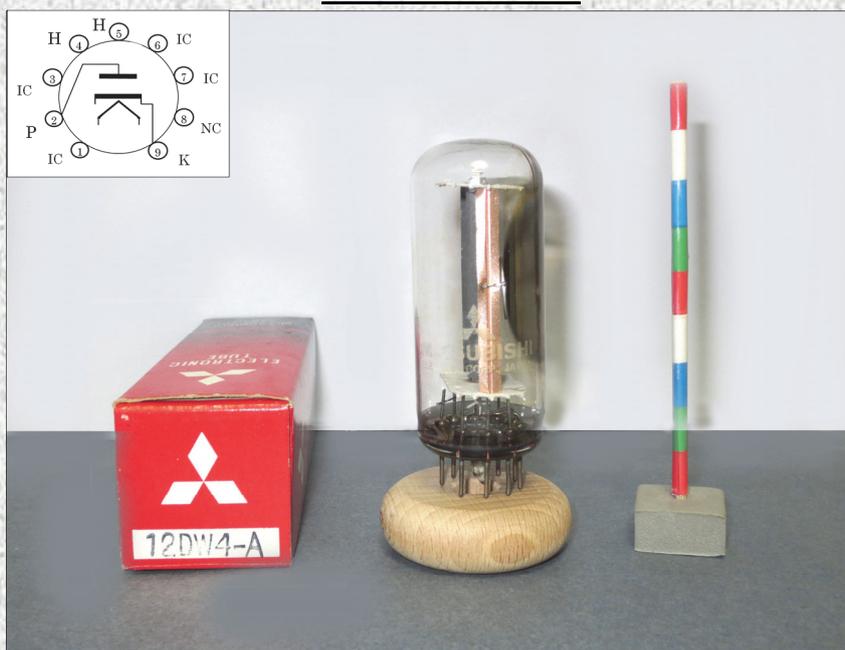


一部拡大



通電状態

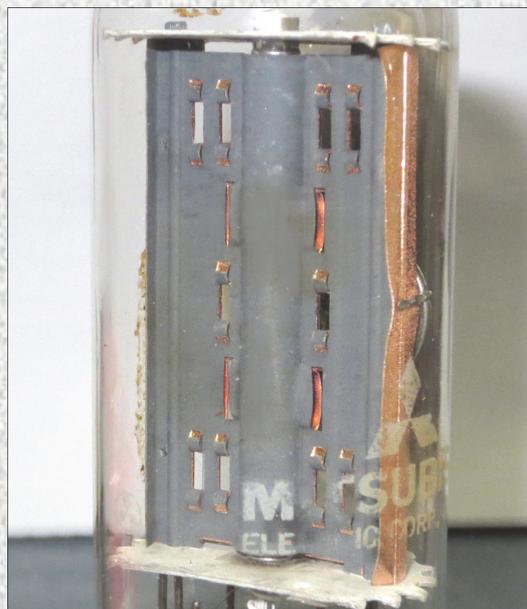
Tube- 513:

12DW4A

サンプル・メーカー	三菱電機 (MITSUBISHI)	外形番号	ノバー,T29-003
使用時期	1965(S40)~1970(S45)	初期使用機種	三菱電機 (19CK-650)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	12.6×600

特徴：ダンパー用2極管、ヒーター・カソード間ピーク電圧=(負)5,500V,(正)300V,ピークプレート負電圧=5,500V,ピークプレート電流=1,300mA,プレート損失=8.5W,ウォームアップタイム=11秒

経緯：6DW4A,17DW4A同等、(東芝電子管ハンドブック,1969)



一部拡大



通電状態

Tube- 514:

6DW4B

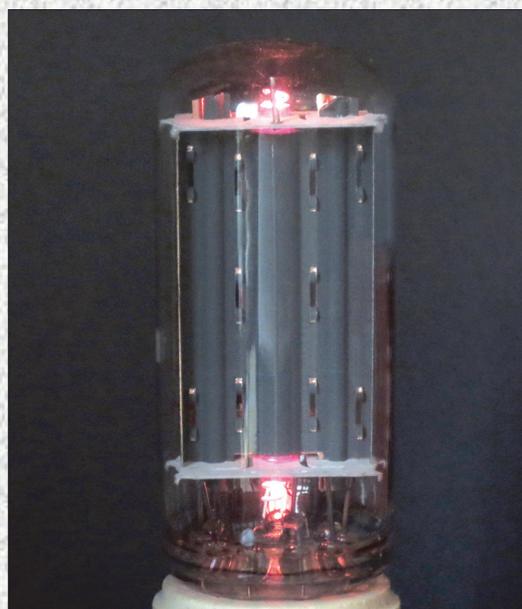
サンプル・メーカー	日立製作所 (Hitachi)	外形番号	ノバー,T29-003
使用時期	1966(S41)~1969(S44)	初期使用機種	ゼネラル (19-CKD)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	6.3×1.2A

特徴：ダンパー用2極管、**6DW4A**同等、ウォームアップタイム=規定無

経緯：**6DW4B**は排気を真空管の下部でおこなっているため、**6DW4**、**6DW4A**に比べ全長が短くなっている。(SYLVANIA RECEIVING TUBES TECHNICAL MANUAL,2000)



一部拡大



通電状態

Tube- 515:

17DW4A

サンプル・メーカー	新日本電気 (NEC)	外形番号	ノバー, T29-003
使用時期	1966(S41)~1970(S45)	初期使用機種	日本コロムビア (19CL9)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	16.8×450

特徴：ダンパー用2極管、12DW4A同等、ウォームアップタイム=11秒

経緯：(東芝電子管ハンドブック,1969)



一部拡大



通電状態

Tube- 516:

12CK43

サンプル・メーカー	三菱電機 (MITSUBISHI)	外形番号	コンパクトロンT-29
使用時期	1967(S42)	初期使用機種	三菱電機 (19CK-140)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	12.6×600

特徴：ダンパー用2極管、ヒーター・カソード間ピーク電圧=(負)5,500V,ピークプレート負電圧=5,500V,ピークプレート電流=1,300mA,プレート損失=8.5W,ウォームアップタイム=11秒

経緯：(三菱電子管ハンドブック,1967)



一部拡大



通電状態

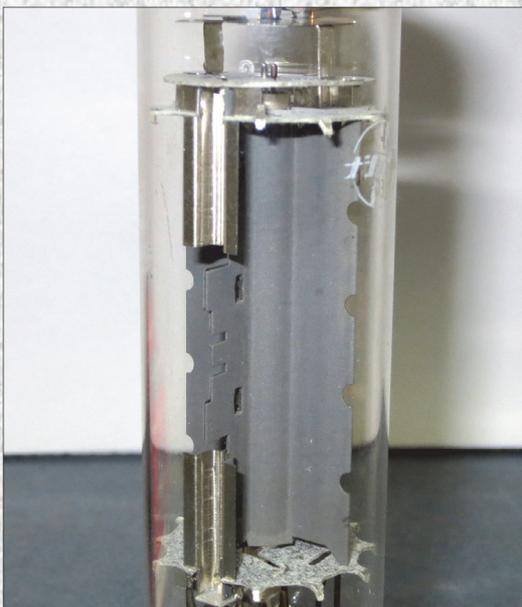
Tube- 517:

42EC4

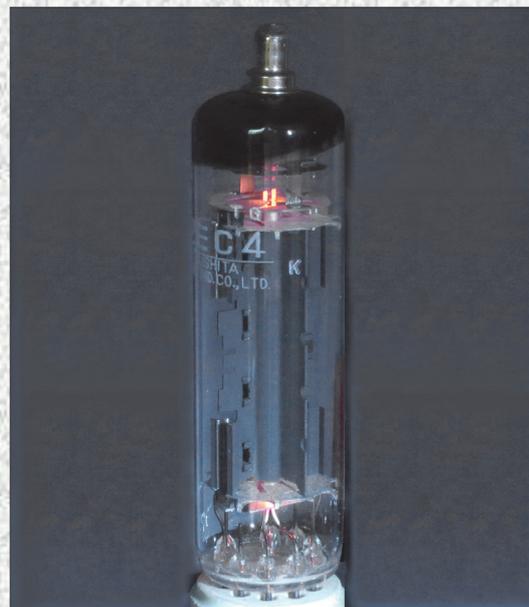
サンプル・メーカー	松下電器産業 (National)	外形番号	115.2×30.2mm
使用時期	1967(S42)~1970(S45)	初期使用機種	松下電器産業 (TK-50D)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	42.0×300

特徴：ダンパー用2極管、ヒーター・カソード間ピーク電圧=(負)5,600V,ピークプレート負電圧=6,300V,ピークプレート電流=800mA,プレート損失=11W,ウォームアップタイム=規定無

経緯：(全日本真空管マニュアル,1969追加分)



一部拡大



通電状態

Tube- 518:

19CG3

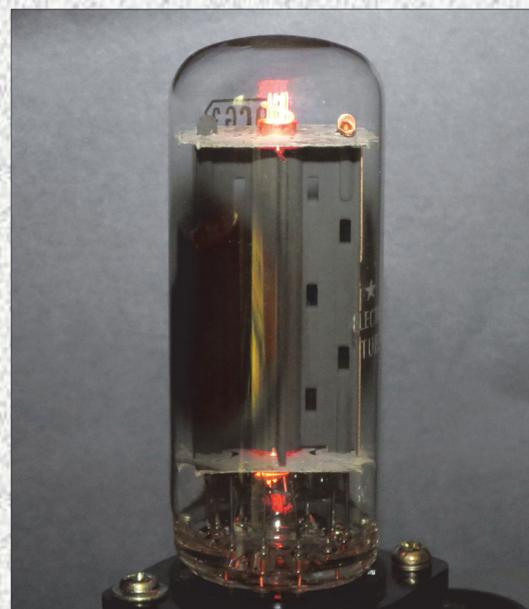
サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	コンパクトロン管,C29-61
使用時期	1967(S42)~1971(S46)	初期使用機種	早川電機工業 (15C-Y2)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	18.9×600

特徴：ダンパー用2極管、ヒーター・カソード間ピーク電圧=(負)5,000V,ピークプレート負電圧=5,000V,ピークプレート電流=2,100mA,プレート損失=6.5W,ウォームアップタイム=11秒

経緯：6CG3,25CG3同等、(GE PRODUCT INFORMATION,1967)

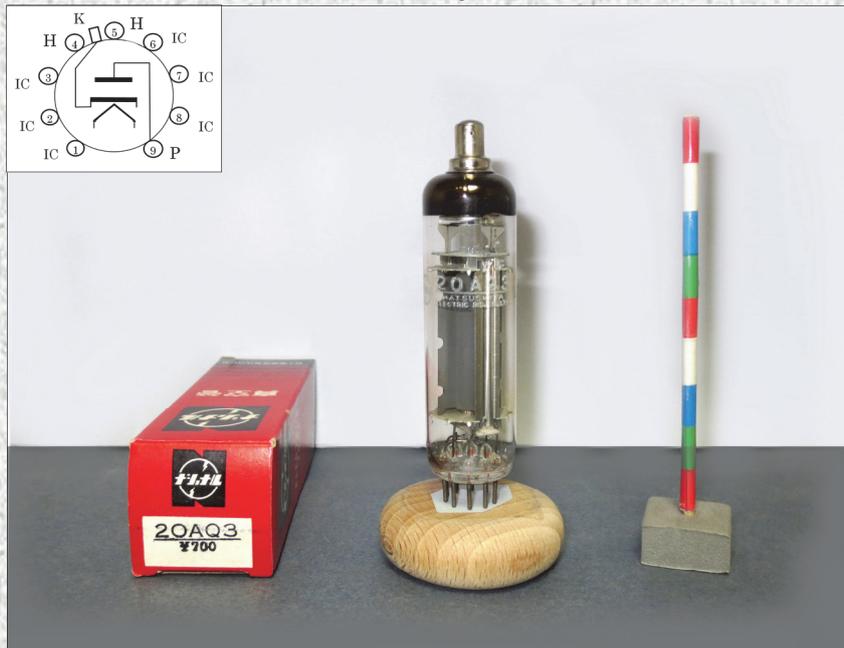


一部拡大



通電状態

Tube- 519:

20AQ3

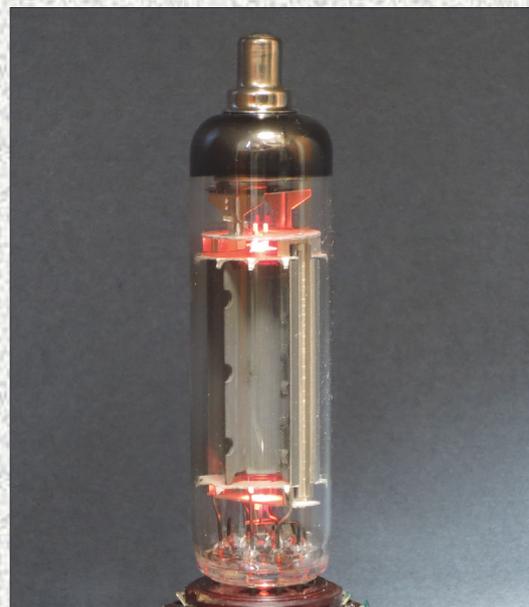
サンプル・メーカー	松下電器産業 (National)	外形番号	mT21-11
使用時期	1966(S41)~1971(S46)	初期使用機種	日本ビクター (12P-36)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	20.2×450

特徴：ダンパー用2極管、20AQ3/LY88同等

経緯：(ナショナル真空管ハンドブック,1966)



一部拡大



通電状態

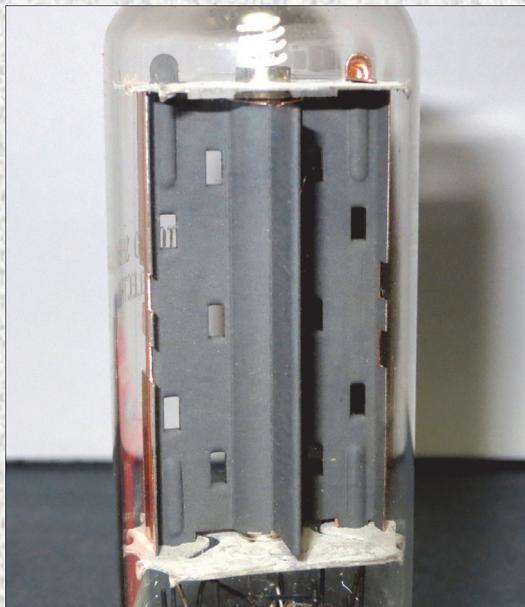
Tube- 520:

6CG3

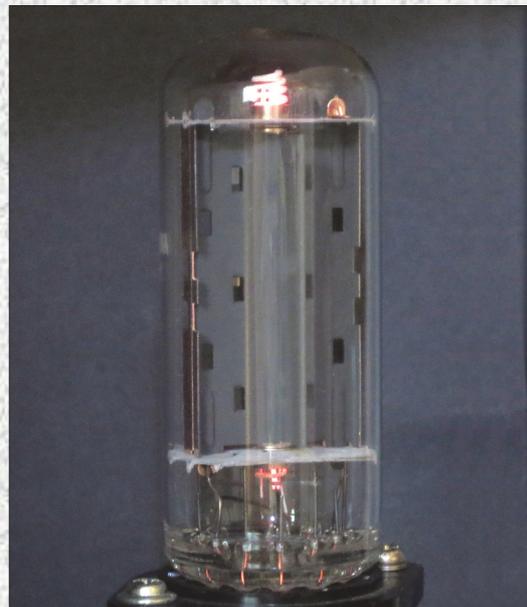
サンプル・メーカー	東京芝浦電気 (Toshiba)	外形番号	コンパクトロン,C29-61
使用時期	1968(S43)~1969(S44)	初期使用機種	三洋電機 (19CT-8800)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	6.3×1.8A

特徴：ダンパー用2極管、**19CG3**同等、ウォームアップタイム=規定無

経緯：**19CG3,25CG3**同等、(GE PRODUCT INFORMATION,1967)



一部拡大



通電状態

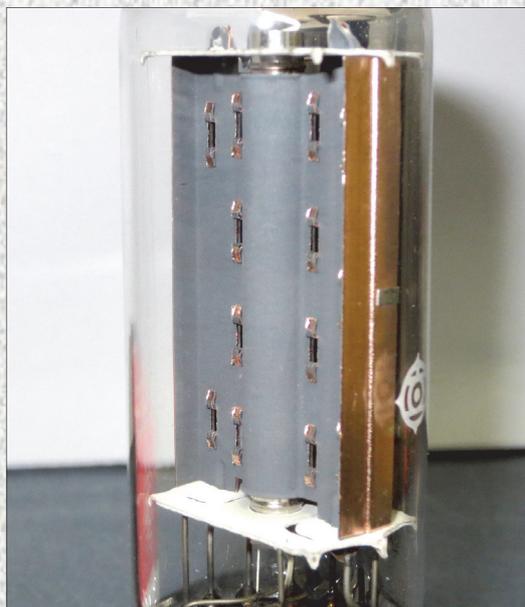
Tube- 521:

25CG3

サンプル・メーカー	日立製作所 (Hitachi)	外形番号	コンパクトロン,C29-61
使用時期	1968(S43)~1970(S45)	初期使用機種	日本コロムビア (25C-41A)
使用回路	CTV:ダンパー	Ef [V] × If [mA]	25.0×450

特徴：ダンパー用2極管、**19CG3**同等、ウォームアップタイム=11秒

経緯：**6CG3,19CG3**同等、(GE PRODUCT INFORMATION,1967)



一部拡大



通電状態